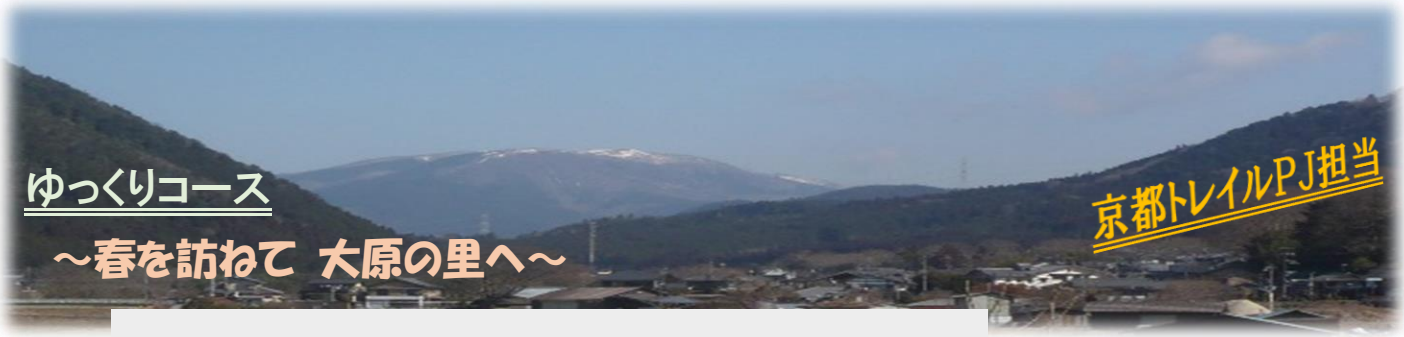

洛北 寂光院から三千院あたりを歩く

≪活動記録≫

実施日；平成 30 年 3 月 23 日（金）
参加者：３０名
天　候：晴れ
会　費：７００円（寂光院、三千院拝観料、一部そら組補助）

行　程：
戸寺バス停～(東海自然歩道)～寂光院～草生町公園(昼食)～
三千院～音無しの滝～志ば久(しば漬け)～大原バス停(解散)

悪天候による活動中止が続き、今週もしばらく雨模様の天気ばかりで随分心配したが、久しぶりの好天気に、バスを降りてこられる誰もがニコニコ顔で、何か晴れやかそうにうつった。

バス停に地場産のドレッシングや餅の店があり、さっそく集合前から本日最初のお買い物タイムとなる。点呼の後、京都トレイルに沿って、それぞれが思い思いのペースで、のどかな大原の山里をしばらく歩きだすと、文字通り「ゆっくりコース」の始まり、始まり。

やがて建礼門院ゆかりの寂光院に着き、本堂にて後白河法皇の大原御幸や、大原女の装束にまつわるお話をうかがう。お庭を抜け宝物殿を見学し山門を下ると、漬物屋さんがあり二度目のお買い物タイム。少し歩いて展望の開けた公園で、気持ちの良い日差しを浴びながらの昼食とする。

大原女の小径をゆっくりと三千院に向かい、往生極楽院にて時間や内容のオーダーに、即興で応えてくださる誠に有り難い法話を、しかも、うっとりとするような美声で拝聴させていただいた後、苔むしたお庭の前で恒例の集合写真の撮影となる。

三千院からは急坂の山道に自信の無い一部の人を残し、音無しの滝に向かう。少し汗ばんだ頃に水音が聞こえ、良忍上人が声明の邪魔になるため音を止めたと伝わる滝が現れる。この滝は初めて訪れた人がほとんどで、今回の「ゆっくりコース」活動のポイントアップに少し貢献したかもしれない。
山道を引き返し待機組と合流して、バス停に向かう途中の志ば久で、しば漬けやお漬物など本日最後のお買い物タイムの後、バス停に到着。全員が 15 時 13 分発のバスに乗車し、車中解散となる。

お天気にも恵まれ、のどかな山里の風情を感じながらの、気持ちの良いカントリーウォークが楽しめた、京都一周トレイル「ゆっくりコース」の一日だった。